

丸屋書店規約

第一章 總則

第一条 當店ハ丸屋書店ト稱シ組合組織トス

第二条 當店ハ内外ノ圖書及文房具ヲ販賣スルヲ以テ目的トス

第三条 當店ハ横濱市辨天通二丁目廿八番地ニ設置ス

第四条 當店ハ存立時期ハ設置ノ日ヨリ向三十ヶ年トス但總組合員ノ同意ヲ得テ之ヲ伸縮スルアルベシ

第五条 當店ハ左ノ印章ヲ以テ店印トス



第二章 資本金及各組合員ノ出資額

第六条 當店ノ資本金ハ五萬圓トシ各組合員ノ出資額ハ左ノ如シ

一金

一金

一金

一金

一金

一金

一金

但前項中丸屋七郎ノ出資額ハ横濱市辨天通二丁目廿八番地所
在(即當店所用)ノ家屋ヲ以テ出資ト爲スニ依リ同家屋ノ代

價ヲ見積リタルモノトス

第七条 前条ノ資本金ハ營業務ノ都合ニ依リ總組合員ノ同意ヲ得

テ増減スルコトアルヘシ

第八条 各組合員ノ出資ニ付拂込又ハ拂戻シヲ爲ス期日ハ代表者

ニ於テ之ヲ定メ二週間各組合員ニ通知スルモノトス

第三章 組合員ノ權利義務

第九条 各組合員ハ總組合員ノ承諾ヲ得ルニ非サレハ直接ト間接

トヲ問ハス當店ノ營業ニ類似スル商行爲ヲ爲スコトヲ得ス

第十条 各組合員ハ總組合員ノ承諾ヲ得ルニ非サレハ當店ノ名ヲ

用テ私ニ負債ヲ爲スコトヲ得ス

第十一条 第九条第十条ニ違背シタル組合員ハ總組合員ノ同意ヲ

得テ組合員ヲ除名スルコトアル可シ

第十二条 前条ノ外組合員ハ出資ノ拂込ヲ怠リ又ハ破産若クハ家

資ノ分散ノ宣告ヲ受ケタル組合員ハ總組合員ノ同意ヲ得テ組合

員ヲ除名スルコトアルベシ

第十三条 第十条及第十一条ニ依リ除名シタル者ニハ其出資ノ何タルヲ問ハス金錢ヲ以テ拂込額ヲ拂戻ス可シ

但當店ニ損害ヲ生セシメタル時ハ其金額ヲ引去ルモノトス

第十四条 各組員ハ總組員ノ承諾ヲ得テ其分ノ一部ヲ讓渡シ
第三者ヲ加入セシメ又ハ全部ヲ讓渡シ第三者ヲシテ自己ニ代ハラシムルコトヲ得

第十五条 組員死亡シタル場合ニハ其相續人代テ組員トナルモノトス

但業務ハ代テ担当スルコトヲ得ス

第十六条 第十四条及第十五条ニ依リ加入シタル組員ハ加入前ニ於ケル總テノ權利義務ヲ承繼スルモノトス

第四章 組員名簿

第十七条 当店ハ組員名簿ヲ備ヘ左ノ事項ヲ記載ス

一 各組員ノ氏名住所

一 各組員ノ出資額

一 各組員ノ出資ニ付拂込及拂戻額

一 各組員ノ加入及除名ノ事由

一 各組員出資額ノ異動

第五章 業務執行員

第十八条 当店ハ業務執行員一名ヲ組員總會ニ於テ選任ス

第十九条 業務執行員ノ任期ハ五ヶ年トス

但任期滿了後再選スルコトヲ得

第二十条 業務執行員ハ當店ノ營業名義人トナリ無限責任ヲ負フ

第二十一条 業務執行員ハ當店ノ規約及組員ノ決議ヲ恪守シ当店

一切ノ業務ヲ處理シ且使用人ヲ任免スルノ權ヲ有ス

第二十二条 業務執行ノ任ナキ組員ハ業務執行員ニ營業ノ報告ヲ

求又ハ何時ニテモ當店ノ營業及財産ノ狀況ヲ調査スルコトヲ得

第二十三条 業務執行員ノ報酬ハ組員ノ決議ヲ以テ之ヲ定ム

第六章 組員總會

第二十四条 組員總會ヲ分チテ定時臨時ノ二種トス

第二十五条 定時總會ハ毎年一月之ヲ開會ス

第二十六条 定時總會ニ於テハ諸勘定書ヲ調査シ且利益金分配ニ係

ル事ヲ決議スルモノトス

第二十七条 臨時總會ハ業務執行員ニ於テ必要ト認ムル時又ハ組員ノ半數以上ヨリ總會ノ目的ヲ明示シテ開會ヲ請求シタル時之

ヲ招集ス

第二十八条 總會ノ招集ニハ會日ヨリ少クモ三日前ニ其日時場所及

目的事項ヲ各組員ニ通知スヘシ

第二十九条 總會ノ會長ハ業務執行員之ニ任シ業務執行員事故アル

其ハ組合員中ヨリ之ヲ選任ス

第三十条 總會ニ於テハ特ニ定メタル事項ノ外組合員半數以上ノ

同意ヲ得テ決議スルモノトス

第卅一条 總會ニ於テ決議シタル事項ノ要領ハ決議録ニ記載シ會

長及組合員一名之ニ署名捺印シテ保存スルモノトス

第卅二条 總會ニ缺席スル組合員ハ出席スル組合員ニ代理ヲ委任

スルコトヲ得

第七章 事業年度及計算

第卅三条 當店ハ毎年一月ヨリ十二月迄ヲ以テ事業年度ト定メ毎

年度ノ終ニ於テ諸勘定ヲ決算スルモノトス

第卅四条 當店ノ損益計算ハ毎年度ノ總益金ヨリ總損金ヲ引去リ

其殘額ヲ純益金トス

第卅五条 純益金ハ右ノ割合ヲ以テ分配スヘシ

一 純益金百分ノ五乃至十五 積立金

二 全 百分ノ十乃至十五 使用人賞與金

三 右二項ノ金額ヲ引去リタル殘額ヲ組合員ノ出資額ニ應シ

分配当金

但計算都合ニ依リ諸種ノ積立金及次年度繰越金ヲ爲スコトア

ルヘシ

第八章 當店ノ解散

第卅六条 當店ハ左ノ事由ニ依リテ解散ス

一 當店存立時期ノ滿了

一 總組合員ノ承諾

一 當店ノ破産

第九章 雜則

第卅七条 本規約ハ總組合員ノ同意ヲ得テ變更スルコトヲ得

第卅八条 本規約ニ定メナキモノハ商法ノ規定ヲ準用ス

右規約組合員一全遵守スル証トシテ茲ニ署名捺印スルモノ也

〔注〕 丸屋書店規約（草案） 半紙判 七丁

この規約は中村重久（当時丸善株式会社取締役）の筆になる草案で、年月日は記されていない。しかし前出の「丸屋書店組合營業假規約」に組合出資者として中村重久の名前があることから、確定規約の草案と考えられる。